

令和3年度補助事業の概要 (公益財団法人 日本海事広報協会)

1. 「海の日」・「海の月間」広報

(1) 「海の日」・「海の月間」関連行事広報

全国11地方海事広報協会の協力のもと、全国的に「海の日」「海の月間」行事や広報資料を実施。中央では「海の日」クイズキャンペーンを展開。



2. 海事知識啓発

(1) 船との出会い総合事業

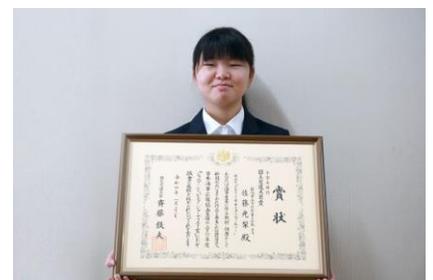
①乗船体験・海事産業関連施設の見学会

全国11地方海事広報協会の協力のもと、全国的に乗船体験や、造船所などの海事施設見学会、および海事産業に関する出前授業を実施。



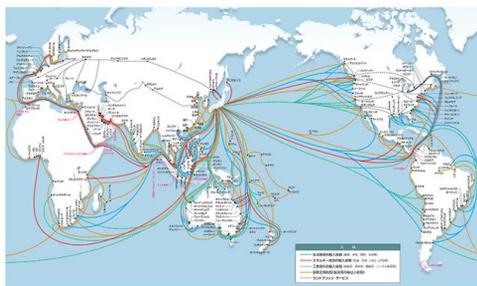
②ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞

全国の小中高生を対象に海運、船などに関わる調査・取材を行い、新聞形式にまとめた作品を募集し表彰。国土交通大臣賞を授与。



(2) 海事広報資料の制作

海運をわかりやすく解説した海運広報パンフレット「SHIPPING NOW 日本の海運」を制作、配布。



(3) 海洋教育普及事業

①海の仕事へのパスポート（小・中学生向け海洋キャリア教育）

「海に関わる仕事」を知り、海洋・海事産業に対する関心を高めることを目的に、同産業の現場で働く人を講師に迎え、小中学生を対象にセミナーを実施。



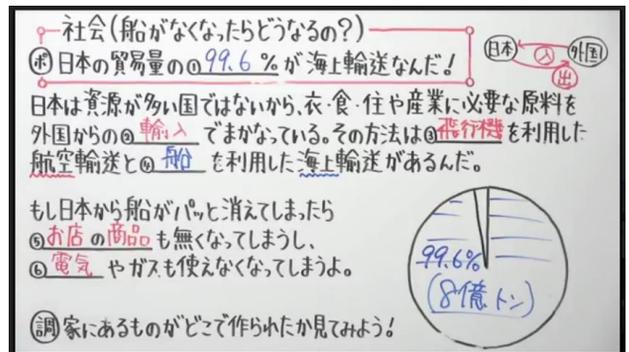
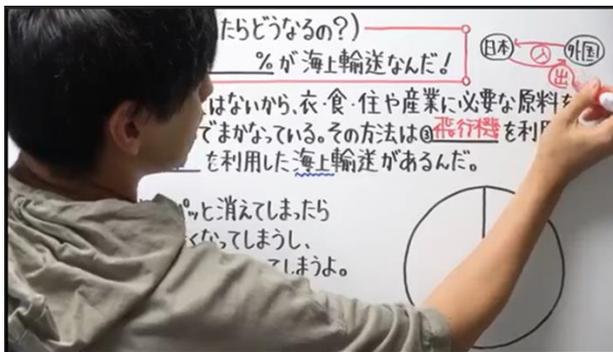
②教育関係者への働きかけ

教育現場で海事分野が取り上げられるよう、教育関係者を対象に、説明会や現場見学会を実施。



③YouTuberによる海事教育動画の展開

教育系YouTuber葉一（はいち）氏を起用し、小学5年生の社会の授業を意識した、船や港など海事産業に関する授業動画を制作、公開。



④社会科向けデジタル教材の制作

小学校社会科の海事産業の学習保管用のデジタル教材を制作。小学5年社会「工業生産」で取り上げられる「自動車」をテーマに制作。

